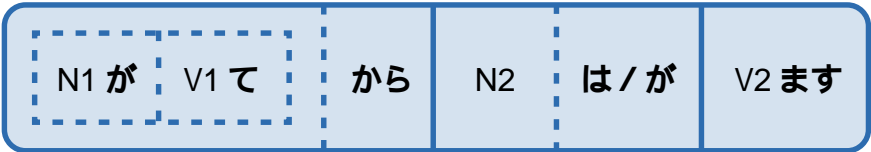


# 文-33

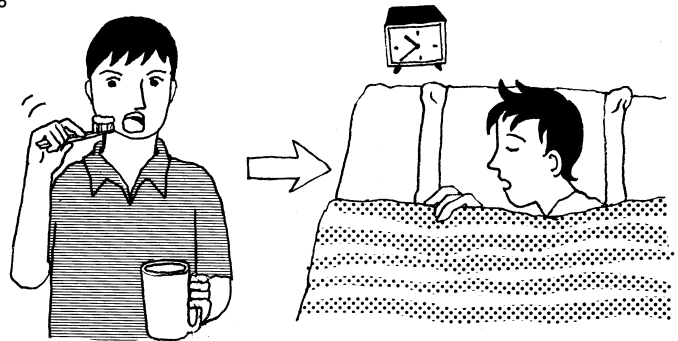
## Vてから



### 基 本

#### 例 文

- ① <sup>がっこう</sup> <sup>お</sup> 学校が終わってから、<sup>さとう</sup> 佐藤さんは  
アルバイトをしています。
- ② わたしたちは、<sup>あめ</sup> 雨がやんでから、<sup>しあい</sup> 試合を  
しました。
- ③ <sup>こばやし</sup> 小林さんが来てから、<sup>しょくじ</sup> 食事を始めましょう。
- ④ <sup>たなか</sup> 田中さんがスピーチをしてから、<sup>なかやま</sup> 中山  
さんがスピーチをしました。
- ⑤ <sup>たなか</sup> 田中さんは、<sup>は</sup> 歯をみがいてから、  
<sup>ね</sup> 寝ます。



例文⑤

#### 解 説

- A. V1がV2より先の動作あるいはできごと。(例文①～⑥)
- B. 二つの動作やできごとの前後関係をはっきりと言うときに使う。(例文①～⑥)
- C. 「N2は」は、文頭に来ることができる。(例文②⑤⑥)



## 先生へ

「Vてから」節内の主語 N1 は、常に「が」をとる。

「Vてから」と「Vて」の違い。

	Vてから	Vて
順次動作 連続できる文の数 前後関係の明確さ	2文まで	複数

例 田中さんが歌を歌ってから、山本さんがピアノを弾きました。

田中さんが歌を歌って、山本さんがピアノを弾きました。

N1とN2が同じ場合は、「NはV1てからV2ます」となり、その方がやさしいので、先に提示して練習するとよい。

### 【関連項目】

活-01 Vて形  
文-31 VてV  
文-36 あとで  
文-57 たら

### 【「れんしゅう編」の練習】

10-3 どっちが先  
10-4 日曜日の計画  
10-5 手紙をください  
10-6 わたしの友だち